

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月9日

上場会社名 滝沢ハム株式会社
 コード番号 2293 URL <http://www.takizawaham.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 瀧澤 太郎
 (氏名) 山口 輝

TEL 0282-23-5640

上場取引所 JQ

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	23,324	△5.8	484	227.6	425	324.1	381	—
21年3月期第3四半期	24,761	—	147	—	100	—	△31	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	37.14	—
21年3月期第3四半期	△3.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
22年3月期第3四半期	13,967	—	2,124	15.2	—	—	206.67	—
21年3月期	12,441	—	1,783	14.3	—	—	173.57	—

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 2,122百万円 21年3月期 1,782百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,400	△4.6	410	386.8	330	—	270	—	26.29

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注) 詳細は、4頁【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第3四半期 | 10,510,000株 | 21年3月期 | 10,510,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第3四半期 | 240,033株 | 21年3月期 | 240,033株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 10,269,967株 | 21年3月期第3四半期 | 10,270,051株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成21年5月25日に公表いたしました業績予想につきましては、通期の業績予想を本資料において修正しております。なお、上記予想に関する事項は、4頁【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。
- 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、急激な為替相場の変動が企業収益に影響を及ぼすとともに、設備投資の低迷や雇用情勢の悪化、生活防衛意識の高まりによる個人消費の冷え込み等、極めて厳しい状況で推移いたしました。

当業界におきましても、雇用情勢の悪化から個人消費が低迷し、商品の低価格化が進行するとともに食肉相場の低迷や食肉消費の低下もあり、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは単品別生産性の見直しと労務費削減等のローコスト・オペレーションを推進し生産性の向上に努めてまいりました。また、平成21年10月より品質保証体制の強化と生産の効率化を図るため、コンサルタントの指導を受け小集団活動を開始いたしました。営業面においては新商品の販売促進を図るとともに、市場のニーズにあった低価格志向の商品の開発を行い売上強化を図ってまいりました。

しかしながら、当第3四半期連結累計期間の売上高は、牛肉、豚肉及び鶏肉とも相場低迷の影響と消費低迷等の要因による販売不振が重なったことにより、食肉部門の売上高が大幅に減少したため233億24百万円（前年同期比5.8%減）となりました。

損益面につきましては、ハム・ソーセージ等の売上高増加による粗利益の増加要因及び製造コストの削減効果により、営業利益は4億84百万円（前年同期比227.6%増）、経常利益は4億25百万円（前年同期比324.1%増）となりました。四半期純利益についても税金費用が減少したため、3億81百万円（前年同期31百万円の四半期純損失）となり増益となりました。

部門別の概況は次のとおりであります。

（食肉加工品部門）

食肉加工品部門につきましては、新商品のハム・ソーセージ類の売上が増加したことや年末ギフトが好調に推移したため、この部門の売上高は増加しました。この結果、この部門の売上高は、90億18百万円（前年同期比3.9%増）となりました。

（惣菜その他加工品部門）

惣菜その他加工品部門につきましては、食肉惣菜品の売上が好調に推移しましたことから、この部門の売上高は37億2百万円（前年同期比8.0%増）と増加しました。

（食肉部門）

食肉部門につきましては、国産豚肉は販売量は増加しましたが相場の低迷により販売単価が大幅に下落したため売上高は減少しました。国産牛肉につきましても和牛を中心に消費者ニーズの変化により需要が低迷したことから販売不振のため減少しました。この結果、この部門の売上高は104億69百万円（前年同期比16.3%減）と減少しました。

（その他部門）

その他部門につきましては、物流部門及び外食部門の売上が減少したため、この部門の売上高は、1億33百万円（前年同期比10.4%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産等の状況

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ15億25百万円増加し、139億67百万円となりました。これは主に、第3四半期の季節的要因により売掛金が増加したことによるものであります。

当第3四半期末の負債は、前連結会計年度末に比べ11億84百万円増加し、118億43百万円となりました。これは主に、第3四半期の季節的要因により買掛金及び未払金が増加したことによるものであります。

当第3四半期末の純資産は前連結会計年度末に比べ3億40百万円増加し、21億24百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動によるキャッシュ・フローの増加により、前連結会計年度末に比べ2億34百万円増加し、14億58百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、8億96百万円（前年同期比45.6%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の増加とたな卸資産の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、2億80百万円（前年同期比128.0%増）となりました。これは主に、有形固定資産及び投資有価証券の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、3億81百万円（前年同期96百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成21年5月25日に公表した業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,589,803	1,355,447
受取手形及び売掛金	4,216,771	2,858,411
商品及び製品	1,499,530	1,583,568
仕掛品	130,400	145,177
原材料及び貯蔵品	256,417	368,202
繰延税金資産	124,927	125,039
その他	42,102	66,585
貸倒引当金	△10,361	△7,420
流動資産合計	7,849,592	6,495,012
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,844,949	1,904,707
機械装置及び運搬具(純額)	261,506	276,515
土地	2,705,755	2,631,992
リース資産(純額)	147,647	15,160
その他(純額)	71,760	74,773
有形固定資産合計	5,031,619	4,903,149
無形固定資産	12,823	12,508
投資その他の資産		
投資有価証券	812,200	773,712
繰延税金資産	8,343	8,203
その他	267,526	272,086
貸倒引当金	△14,575	△22,759
投資その他の資産合計	1,073,495	1,031,243
固定資産合計	6,117,938	5,946,902
資産合計	13,967,530	12,441,914

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,503,462	2,424,562
短期借入金	4,446,610	4,440,691
リース債務	26,816	3,039
未払法人税等	22,043	26,903
賞与引当金	40,421	90,566
その他	1,108,089	794,558
流動負債合計	9,147,443	7,780,320
固定負債		
長期借入金	1,371,435	1,673,754
リース債務	129,517	13,059
長期未払金	367,861	405,128
退職給付引当金	691,994	657,680
役員退職慰労引当金	92,124	78,369
負ののれん	21,905	29,207
その他	20,976	21,061
固定負債合計	2,695,813	2,878,260
負債合計	11,843,257	10,658,581
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080,500	1,080,500
資本剰余金	685,424	804,045
利益剰余金	579,578	79,482
自己株式	△3,877	△3,877
株主資本合計	2,341,625	1,960,150
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△219,107	△177,589
評価・換算差額等合計	△219,107	△177,589
少数株主持分	1,755	772
純資産合計	2,124,273	1,783,333
負債純資産合計	13,967,530	12,441,914

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	24,761,920	23,324,411
売上原価	20,695,252	18,894,011
売上総利益	4,066,667	4,430,400
販売費及び一般管理費	3,918,734	3,945,778
営業利益	147,932	484,622
営業外収益		
受取利息	1,002	339
受取配当金	16,265	15,056
補助金収入	16,547	10,411
その他	44,638	36,462
営業外収益合計	78,454	62,270
営業外費用		
支払利息	90,986	86,342
過年度退職給付費用	35,055	35,055
その他	88	330
営業外費用合計	126,130	121,728
経常利益	100,256	425,164
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,039	921
過年度損益修正益	2,766	—
その他	231	—
特別利益合計	6,037	921
特別損失		
固定資産売却損	—	7,900
固定資産除却損	29,377	6,019
減損損失	734	8,605
その他	5,332	1,285
特別損失合計	35,444	23,811
税金等調整前四半期純利益	70,850	402,274
法人税、住民税及び事業税	14,484	19,703
法人税等調整額	87,000	111
法人税等合計	101,485	19,815
少数株主利益	481	983
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△31,117	381,475

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	70,850	402,274
減価償却費	235,958	213,170
減損損失	734	8,605
引当金の増減額(△は減少)	△91,654	△10,669
受取利息及び受取配当金	△17,268	△15,396
支払利息	90,986	86,342
固定資産除却損	29,377	6,019
固定資産売却損益(△は益)	—	7,900
未払消費税等の増減額(△は減少)	76,052	△48,478
売上債権の増減額(△は増加)	△1,209,472	△1,355,684
たな卸資産の増減額(△は増加)	348,849	210,600
仕入債務の増減額(△は減少)	913,574	1,078,900
その他の資産の増減額(△は増加)	△26,013	11,150
その他の負債の増減額(△は減少)	310,457	413,585
その他	△16,881	△21,285
小計	715,549	987,035
利息及び配当金の受取額	17,268	15,396
利息の支払額	△96,344	△81,739
法人税等の支払額	△20,400	△23,888
営業活動によるキャッシュ・フロー	616,072	896,803
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△109,279	△225,125
有形固定資産の売却による収入	114	21,500
固定資産の除却による支出	—	△2,659
投資有価証券の取得による支出	△6,970	△81,363
貸付けによる支出	△3,780	△2,150
貸付金の回収による収入	3,117	3,980
定期預金の増減額(△は増加)	△1,861	△50
その他	△4,492	5,033
投資活動によるキャッシュ・フロー	△123,151	△280,835
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	668	△65,169
長期借入れによる収入	400,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△263,591	△331,231
長期未払金の返済による支出	—	△36,674
社債の償還による支出	△40,000	△40,000
配当金の支払額	△144	△70
その他	△306	△8,518
財務活動によるキャッシュ・フロー	96,626	△381,662
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	589,547	234,305
現金及び現金同等物の期首残高	826,778	1,223,835
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,416,326	1,458,140

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

当社グループの取扱う製品等を種類・性質、製造方法、販売市場等の類似性に基づいて区分した結果、同一事業種類の売上高及び営業利益の金額が、いずれも全セグメントの90%を超えていますので、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

当社グループの取扱う製品等を種類・性質、製造方法、販売市場等の類似性に基づいて区分した結果、同一事業種類の売上高及び営業利益の金額が、いずれも全セグメントの90%を超えていますので、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

当社グループは、在外連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

当社グループは、在外連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

当社グループは、海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

当社グループは、海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年6月26日開催の第59回定時株主総会において、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金80,375千円をその他資本剰余金に振り替え、さらに、会社法第452条の規定に基づき、上記振り替え後のその他資本剰余金118,620千円を繰越利益剰余金に振り替え、同額分の欠損を解消する決議を行っております。この結果、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金は118,620千円減少し685,424千円となっております。